



# JUSTICE

ジェイアール・イーストユニオン

発行者 菅野 一位  
編集者 教 宣 部  
〒105-0021  
東京都港区東新橋2-8-28  
TEL(J R) 057-7333  
TEL(NTT) 03-6452-9687

### 基本理念

1. 社員で考え、社員のための労働運動を目指す 企業内労働組合
2. 心とこころをつなぐ相互扶助活動と、次代につなぐ社会正義の実現を目指す

自らを変える!! 明日を創る!! **イーストイノベーション**

ホームページ検索  
「JREユニオン」

9月7日付  
**新潟地本で組織拡大**  
新潟地方本部で、輸送主任(42歳)がジェイアール・イーストユニオンに加入!

JR連合は、2009年に「あるべき労働組合像・労使関係像」という考え方を示し、真に自由で民主的、建設的な運動を行う労働組合を創ることの大切さを唱え、組合員・家族の幸せと、それと表裏一体の会社の健全な

## 組織拡大の成果も!

発展に寄与する真つ当な労働組合であるべきことを訴えている。そして仲間たちと共にその実現に向けて努力を積み重ねてきた。私たちはこうした真の労働組合運動を継承するために、今まさに邁進していくのみである。JR東日本のこの先の30年は、私たちのこの一年に懸かっていると言っても過言ではない。今こそ躍進の時を迎えるために、組織一丸となつてあらゆる運動を推し進め、JR連合運動への結集を成し遂げよう!

## JREユニオンが明るく元気だ! 第3回イーストキャンプ開催



8月29〜30日、本部は「第3回イーストキャンプ」を、白河四季の森関の里にて開催した。仲間の絆を深めるとともに、組織の運動をさらにステップアップしようとして、各エリアから組合員や交友のある仲間も併せて約30名が参加した。

交流会は、各地協・地本がそれぞれのコテージで自慢の料理を準備し、メイン会場に持ち寄り、準備万端となると、菅野執行委員長の挨拶で始まった。新規加入の平成採用組合員の紹介、この間の組織拡大の報告など、

どがされたあと、乾杯! となった。集まった仲間たちは、お互いに慰労の言葉を掛け合いながら、現場の状況、日頃の取り組みや、将来のこと：様々な話題のある中、この勢いをさらに今後の活動に繋げていくと絆を深め合い、明るく楽しく賑やかに、夜更けまで大いに盛り上がった。

イーストキャンプは、この間、仲間の「絆」をさらに固め合い組織強化につながるのと同時に、運動を通して組織拡大に向けた一助とする、といった目標のもとに毎年開催されており、一昨年は、新潟県の笹川流れで、そして昨年は、福島県の裏磐梯休暇村においてキャンプを行って



いる。第3回目となる本年は、福島県白河市にある「ホテル&コテージ白河関の里」ということ

で、例年とは違いコテージを借りての開催となった。雨、風の心配もなく過ごせるコテージは快適だ、と好評を得ることができた。実行委員会を設置し、今回は関東地協が準備を担当し、各地本との連携で無事に開催できたことについて、あらためて皆様に感謝申し上げます。

また、何よりこうした活動を通して、私たちと運動をともに進めていきたいという、次の世代を担う仲間が参加してくれたことが、大きな成果となり、評価につながった。引き続き、私たちはあらゆる運動を連動し組織拡大につなげることに必要である。



写真：土砂撤去作業に奮闘する菅野委員長

8月25日「平成30年7月豪雨災害」の復興に向けた連合ボランティアに、連合傘下の産別から80名の仲間たちが参加する中、JR連合の仲間とともにJREユニオンからは菅野執行委員長と秋山執行副委員長が参加し、個人宅に入り込んだ大量の土砂や木々を撤去する作業を行った。参加した秋山副委員長からは「現在、多くのボランティアの皆さんが支援活動に参加されていますが、復旧に向けて人員確保を含め、今後も引き続き支援が必要だと感じました。」と報告があった。大規模災害の復旧には相当の時間が掛かってしまう。一日も早い復旧・復興のためには、支え合い、助け合いの力が必要である。

引き続き、全組合員対象の被災組合員などへの救済カンパの協力をお願いします。撤去作業に奮闘する菅野委員長

### 「広島豪雨災害」復興ボランティアに参加!

各種ボランティア活動への参画  
私達の「ボランティア」を「ボランティア」にする。

オイスカ「富士山の森づくり」に参加！  
富士山の美しい森の再生をめざして

8月25日、JREユニオンはJR連合加盟各単組の仲間80名とともに、「財団法人オイスカ」が取り組む「富士山の森づくり」に参加し、ボランティア作業にあたった。同ボランティアは、100年の森づくりとして多くの企業、団体の協働により進められているもの



で、富士山の環境保全活動の体制づくりを協力する目的を継続

的な活動となっている。JREユニオンからは、本部斎藤執行委員、新潟から斎藤修さん、船山さん。関東から和知さんの4名が参加した。日本人の心ふるさととして古くから愛され続けてきた富士山を未来へつなぐための取り組みでもあり、子どもたちへの環境教育の側面もあって親子で参加されている方もおられたこと。参加者からは「100年後に向けた活動に参加でき、とても気持ちよかった」と感想も寄せられた。

JR連合の富士山の森づくりへの参加は、昨年度から、同じくオイスカさんによる「名取海岸林再生ボランティア」活動

と隔年での実施となっています。今後も各種ボランティア活動への参加で社会貢献を図っていくことを、私たちの運動に繋げていくために、多くのご協力をお願いします。

早川町地域活性化ボランティアに参加！

地域社会への貢献で「地域共創」の実践につなげよう

9月15・16日、山梨県早川町においてJR連合「地域活性化ボランティア」に参加した。年2回行われる同ボランティアは、取り組みを始めてから11年目となる。今年6月に引き続きの参加となった。JR連合松岡会長をはじめとする役員、皆さんと、JR北労組、



**JR産業の発展にむけ  
民主的労働組合・  
労使関係を築く  
総決起集会**  
10月10日(水) 18:15~  
田町交通ビル

委員長と、仙台地本から飯野副委員長が参加した。一日目は、生憎の降雨で機械が使えないため、草刈鎌の整備、刃研ぎなどを行った。また、ボランティア作業を案内してくれている「NPO法人日本上流文化圏研究所」の上原氏による早川町の歴史や上流地域の活性化活動の大切さといった内容の講義をいただき、メンバーはパワーポイントによる詳しい解説に真剣に耳を傾けていた。私たちの出来ることは何か、取り組みの大切さをあらためて勉強することとなった。

夜は、お楽しみ品のBBQで、集まった仲間との交流会となり、二次会にわたって大いに盛り上がり



た。二日目は、段取りや配置を組み直して、今回予定した二日分の作業を全て完了した。前日の雨の影響でかなり湿度も高く、半端なく多くの汗を流しながら、総力を結集して、これから収穫期を迎える地区の環境をきちんと整備することができた。終了後は、地区のご婦人たちが準備してくれた手料理などで懇親を深め、今後も継続して交流していくことを楽しみにしているとお話をいただいた。信頼関係がしっかりと根付く中で、「上流

研」の上原氏も「JR連合との関りもあって、以前には考えられなかった活性化の傾向を感じている。」と話していた。

労働組合としての地域社会への貢献という役割に、長年に亘って真摯に取り組んできた確かな成果ではないだろうか。引き続き私たちは、JR連合加盟組合としての誇りを胸に、ひとり一人が主体的・積極的に参画していこう。

**地震風水害共済**  
自然災害共済  
みんなで暮らしをガード  
**交運共済**

建物から家財まで  
地震・風水害・盗難による被害を保障。  
火災共済とセット契約が条件です。

日本列島では、台風・地震などの大きな災害が多発しています。災害はいつ発生するかわからず、「東海地震」「東南海・南海地震」「首都直下地震」「北海道沖の巨大地震」の発生も危惧されています。もしもに備えて地震風水害共済へのご契約をおすすめします！